



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東
コード番号 8214 URL <https://www.aoki-hd.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田村 春生
問合せ先責任者（役職名） IR室長（氏名） 江口 聡（TEL）045-941-1388
半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	84,028	1.3	3,937	△5.6	3,760	△1.7	1,888	△32.4
2025年3月期中間期	82,933	2.3	4,171	9.8	3,824	7.5	2,791	35.3

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,791百万円（△15.6％） 2025年3月期中間期 2,123百万円（△1.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	22.45	—
2025年3月期中間期	33.21	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	210,768	138,991	65.8
2025年3月期	232,976	142,140	60.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 138,689百万円 2025年3月期 141,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	15.00	—	60.00	75.00
2026年3月期	—	20.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	60.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	196,000	1.7	17,000	8.6	16,400	10.9	9,600	0.3	114.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結売上高及びセグメント別の売上高を修正しておりますので、添付資料3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	86,649,504株	2025年3月期	86,649,504株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,488,785株	2025年3月期	2,551,777株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	84,115,672株	2025年3月期中間期	84,043,934株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料について）

・決算補足説明資料については、2025年11月7日（金）にTDnetに開示するとともに当社ホームページに掲載しております。

（決算説明会資料について）

・当社は、2025年11月20日（木）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会（WEB説明会）を開催する予定です。この決算説明会資料については、開催当日の午前中に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続いたしました。しかしながら、不安定な海外情勢や米国の通商政策の影響、物価上昇等に伴う消費者の生活防衛意識の高まりなどにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは下記のような諸施策を実施した結果、売上高は840億28百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は39億37百万円（前年同期比5.6%減）、経常利益は37億60百万円（前年同期比1.7%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は特別利益の減少や税金費用が増加し18億88百万円（前年同期比32.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

（ファッション事業）

ファッション事業のAOKIでは、記録的な暑さ・夏の長期化に合わせた商品展開や猛暑対策フェア等を開催するとともに、昨年10月に全店舗で販売を開始しご好評いただいております疲労回復ウェア「RECOVERY CARE+（リカバリーケアプラス）シリーズ」のアイテムを拡充するなど、カジュアル商品の提案を強化いたしました。また、高機能レディースウェア・ブランド「MeWORK（ミワーク）」では、長引く残暑に向け機能性をさらに追求した「神ラクセットアップ」シリーズの商品拡充と提案を強化いたしました。ORIHICAでは、初出店となる北海道及び長野県をはじめ新規出店を計画的に推進し、認知度向上とマーケットシェア拡大及びドミナントの強化を図りました。店舗面では、ORIHICAで10店舗を新規出店した一方、営業効率改善のためAOKIで2店舗及びORIHICAで6店舗を閉鎖した結果、当中間期末の店舗数は605店舗（前期末603店舗）となりました。

これらの諸施策の実施等によりカジュアル衣料が好調に推移した一方、人件費や新規出店コスト等が増加した結果、売上高は386億63百万円（前年同期比1.0%増）、営業損失は8億34百万円（前年同期は営業損失2億22百万円）となりました。

（エンターテインメント事業）

複合カフェの快活CLUBでは、鍵付完全個室の拡大を推し進めるとともに、長引く物価高と厳しい残暑が続くなか、対象メニューをお値打ち価格で販売する「暑さに勝つ生活応援キャンペーン」を実施いたしました。カラオケのコート・ダジュールでは、韓国グルメフェアの開催により飲食メニューを強化するとともに、「BEYBLADE X（ベイブレードエックス）」コラボキャンペーンの実施により、お客様層の拡大と集客に注力いたしました。24時間営業のセルフ型フィットネスジムのFIT24では、18歳から22歳限定のU（アンダー）22プランの全店舗拡大や、イタリアの名門マシンブランド「PANATTA」のマシンを一部店舗に導入し、初心者から上級者までの会員獲得を強化いたしました。店舗面では、快活CLUBで15店舗、コート・ダジュールで1店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため快活CLUBで5店舗、コート・ダジュールで2店舗及びFIT24で4店舗閉鎖した結果、ランシシステムの複合カフェ自遊空間他81店舗（内フランチャイズ48店舗）を含め、当中間期末の店舗数は772店舗（前期末768店舗）となりました。

これらの諸施策の実施等により既存店が堅調に推移した結果、売上高は388億57百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は46億4百万円（前年同期比4.5%増）と増収増益になりました。

（アニヴェルセル・ブライダル事業）

アニヴェルセル・ブライダル事業では、引き続き受注活動の強化及び組単価アップの施策に注力するとともに、基幹店の表参道店は、これからご結婚式の準備を始めるお客様を対象としたイベント「花嫁はじめてフェス」並びにみなとみらい横浜店は、今年で3回目となる「アニヴェルセル大開放祭」を開催し、アニヴェルセルならではの記念日やサービスの体験によりブランド力向上に努めました。また、アニヴェルセルカフェにおいて、期間限定フェアを開催し、季節に合わせたデザートやドリンクメニューを提供いたしました。

これらの諸施策の実施等により基幹店を中心に施行組数の増加と組単価が上昇した結果、売上高は54億15百万円（前年同期比10.4%増）、営業損失は89百万円（前年同期は営業損失3億75百万円）となりました。

（不動産賃貸事業）

不動産賃貸事業では、グループ内店舗の遊休スペースの賃貸を推し進めた一方、一部の店舗で原価が増加したこと等により、売上高は35億31百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は7億69百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は、売掛金の減少等により前連結会計年度末と比べ222億7百万円減少し、2,107億68百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が144億円及び売掛金が季節的要因等により78億19百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ230億83百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が12億30百万円増加した一方、投資その他の資産のその他が5億14百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ8億76百万円増加いたしました。

（負債）

流動負債は、買掛金が季節的要因等により69億47百万円、未払法人税等が法人税等の支払いにより13億71百万円、賞与引当金が15億17百万円及び未払金等のその他が30億98百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ138億41百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が約定返済等により60億8百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ52億16百万円減少いたしました。

（純資産）

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する中間純利益及び配当金の支払いの結果31億57百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ31億49百万円減少しております。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前連結会計年度末と比べ144億円減少し、204億79百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は27億47百万円（前年同期と比べ10億15百万円減少）となりました。これは主に、仕入債務の減少額が69億47百万円となった一方、税金等調整前中間純利益が31億46百万円、減価償却費が50億50百万円及び減損損失が6億23百万円となったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、41億72百万円（前年同期と比べ24億72百万円増加）となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入が12億2百万円となった一方、新規出店及びリニューアル等に伴う有形固定資産の取得が59億72百万円となったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、129億75百万円（前年同期と比べ79億94百万円増加）となりました。これは主に、長期借入金の約定返済が68億円、配当金の支払額が50億37百万円及びリース債務の返済による支出が11億87百万円となったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績について、売上高はやや苦戦したもの、その他は概ね堅調に推移し通期の進捗に対して売上高はやや下回り、利益はそれぞれやや上回って推移いたしました。

通期の連結業績予想は、当中間連結会計期間の業績を踏まえ下期の各事業の営業施策等を考慮し、2025年5月9日に公表しました通期連結業績予想の売上高を修正いたしました。

また、セグメント別の売上高についても、以下のとおりそれぞれ修正しております。

【2026年3月期のセグメント別予想】

	ファッション 事業	エンターテ イメント 事業	アニヴェルセ ル・ブライダ ル事業	不動産賃貸 事業	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	104,200	77,200	12,000	7,100	196,000
前期比(%)	101.5	101.5	102.4	103.2	101.7
セグメント利益	9,200	6,700	700	1,600	17,000
前期比(%)	105.9	111.8	129.2	100.8	108.6

（注）セグメント利益は営業利益ベースの数値であり、各セグメントの合計と連結との差異は、その他及び連結上の調整額です。

※ 上記の業績予想は、現時点で当社が入手している情報等に基づいて判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,880	20,479
売掛金	14,855	7,036
棚卸資産	22,737	23,568
その他	7,357	5,657
貸倒引当金	△11	△5
流動資産合計	79,819	56,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	65,760	66,069
土地	30,397	30,692
その他 (純額)	15,952	16,578
有形固定資産合計	112,110	113,340
無形固定資産	6,403	6,574
投資その他の資産		
差入保証金	6,233	6,230
敷金	19,025	19,018
退職給付に係る資産	143	134
その他	9,263	8,749
貸倒引当金	△24	△15
投資その他の資産合計	34,642	34,117
固定資産合計	153,156	154,032
資産合計	232,976	210,768

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,023	11,076
1年内返済予定の長期借入金	10,305	9,513
未払法人税等	2,190	819
賞与引当金	3,398	1,881
役員賞与引当金	193	78
その他	16,515	13,417
流動負債合計	50,627	36,785
固定負債		
長期借入金	25,684	19,675
退職給付に係る負債	62	63
資産除去債務	8,818	8,870
その他	5,642	6,381
固定負債合計	40,207	34,991
負債合計	90,835	71,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	22,612	22,644
利益剰余金	98,017	94,859
自己株式	△2,960	△2,887
株主資本合計	140,952	137,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151	167
退職給付に係る調整累計額	737	622
その他の包括利益累計額合計	889	789
非支配株主持分	298	301
純資産合計	142,140	138,991
負債純資産合計	232,976	210,768

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）
売上高	82,933	84,028
売上原価	49,894	49,750
売上総利益	33,039	34,277
販売費及び一般管理費	28,867	30,340
営業利益	4,171	3,937
営業外収益		
受取利息	37	67
受取配当金	16	9
その他	76	42
営業外収益合計	130	119
営業外費用		
支払利息	125	124
固定資産除却損	74	59
その他	277	114
営業外費用合計	477	297
経常利益	3,824	3,760
特別利益		
固定資産売却益	184	10
投資有価証券売却益	563	—
特別利益合計	747	10
特別損失		
減損損失	682	623
特別損失合計	682	623
税金等調整前中間純利益	3,889	3,146
法人税、住民税及び事業税	634	720
法人税等調整額	473	534
法人税等合計	1,107	1,254
中間純利益	2,782	1,891
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△8	3
親会社株主に帰属する中間純利益	2,791	1,888

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2,782	1,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△619	15
退職給付に係る調整額	△38	△115
その他の包括利益合計	△658	△99
中間包括利益	2,123	1,791
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,132	1,788
非支配株主に係る中間包括利益	△8	3

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,889	3,146
減価償却費	4,960	5,050
減損損失	682	623
退職給付に係る資産負債の増減額	△87	△150
受取利息及び受取配当金	△53	△77
支払利息	125	124
固定資産売却損益 (△は益)	△184	△10
売上債権の増減額 (△は増加)	8,644	7,819
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△596	△830
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,425	△6,947
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△537	△1,042
その他	△3,988	△2,808
小計	5,428	4,899
利息及び配当金の受取額	46	72
利息の支払額	△133	△129
法人税等の支払額	△2,074	△2,111
法人税等の還付額	495	15
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,762	2,747
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,357	△5,972
有形固定資産の売却による収入	1,185	1,202
無形固定資産の取得による支出	△315	△548
敷金及び保証金の差入による支出	△365	△513
信託受益権の純増減額 (△は増加)	1,636	1,577
その他	1,517	83
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,699	△4,172
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,000	50
長期借入金の返済による支出	△6,768	△6,800
リース債務の返済による支出	△1,109	△1,187
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△3,102	△5,037
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,981	△12,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,918	△14,400
現金及び現金同等物の期首残高	35,657	34,880
現金及び現金同等物の中間期末残高	32,739	20,479

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当中間連結会計期間（自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前中間連結会計期間（自 2024年４月１日 至 2024年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッ ション事業	エンター テイメント 事業	アニヴェ ルセル・プ ライダル事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	38,263	—	—	—	38,263	—	38,263	—	38,263
複合カフェ	—	30,849	—	—	30,849	—	30,849	—	30,849
カラオケ	—	5,081	—	—	5,081	—	5,081	—	5,081
フィットネス	—	2,500	—	—	2,500	—	2,500	—	2,500
ブライダル	—	—	4,904	—	4,904	—	4,904	—	4,904
その他	—	221	—	—	221	22	244	—	244
顧客との契約から 生じる収益	38,263	38,653	4,904	—	81,820	22	81,843	—	81,843
その他の収益	—	42	—	1,047	1,090	—	1,090	—	1,090
外部顧客への売上高	38,263	38,695	4,904	1,047	82,910	22	82,933	—	82,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	6	2	2,336	2,345	33	2,378	△2,378	—
計	38,263	38,701	4,906	3,384	85,256	55	85,312	△2,378	82,933
セグメント利益 又は損失（△）	△222	4,405	△375	792	4,601	△5	4,596	△424	4,171

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

２．セグメント利益又は損失の調整額△424百万円には、セグメント間取引消去1,901百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,325百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ファッション事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においてはそれぞれ19百万円、633百万円及び29百万円です。

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッ ション事業	エンター テイメント 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	38,663	—	—	—	38,663	—	38,663	—	38,663
複合カフェ	—	31,122	—	—	31,122	—	31,122	—	31,122
カラオケ	—	4,758	—	—	4,758	—	4,758	—	4,758
フィットネス	—	2,742	—	—	2,742	—	2,742	—	2,742
ブライダル	—	—	5,410	—	5,410	—	5,410	—	5,410
その他	—	186	—	—	186	13	199	—	199
顧客との契約から 生じる収益	38,663	38,810	5,410	—	82,885	13	82,898	—	82,898
その他の収益	—	42	—	1,088	1,130	—	1,130	—	1,130
外部顧客への売上高	38,663	38,852	5,410	1,088	84,015	13	84,028	—	84,028
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	4	4	2,443	2,452	30	2,482	△2,482	—
計	38,663	38,857	5,415	3,531	86,468	43	86,511	△2,482	84,028
セグメント利益 又は損失（△）	△834	4,604	△89	769	4,449	△8	4,441	△504	3,937

（注） 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△504百万円には、セグメント間取引消去1,806百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,310百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ファッション事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においてはそれぞれ56百万円、563百万円及び4百万円です。